55年度公害の現状まとまる

大気汚染　横ばい状態続く

昭和五十五年度における新潟市の公害の現状がこのほどまとまりました。

それによると大気汚染はほぼ横ばい、水質汚濁は鳥屋野潟を除き全体的には現状維持、騒音については依然として苦情が多く、自動車騒音等に今後の課題を残しているーなどがわかりました。

以下に、個々の公害の現状と対策についてその概要を紹介します。

市では、大気汚染物質による大気汚染の状況を把握するため、市内十八カ所（年度末数）の測定局で各種の汚染物質の測定や風向・風速などの気象観測を行い、公害監視センターを通じて常時監視を実施しました。

その結果、大気汚染は五十五年度もおおむね横ばいの状態でした。

これを汚染物質別にみると、十三の測定局で測定を行っている硫黄酸化物は、濃度が全局年平均値で〇・〇〇七PPMと、年ごとに改善傾向にあり、環境基準の長期的評価でもいずれも適合していました。

また、窒素酸化物・二酸化窒素とも十一測定局の年平均で昨年度と同じ値を示し、横ばい状態。一酸化窒素はわずかに減少しました。

オキシダント減少

環境基準が一時間値〇・〇六PPM以下とされているオキシダントについては、十一測定局全局で不適合となりましたが、これもわずかながら減少しており、緊急時発令は昨年度は一回もありませんでした。

一方、大気汚染防止策では光化学オキシダント生成の要因物質となる炭化水素では、特に非メタン炭化水素が三測定局の年平均値で五十四年度より若干増加しました。

現在四カ所の監視局で測定している自動車排出ガスは全体的にみて安定もしくは若干減少傾向でした。

測定を開始しました。

水質、全体的には現状維持

―懸念される鳥屋野潟の汚濁―

市内の公共用水域の水質汚濁の状況を把握するため、市では、信濃川水系十一地点、阿賀野川水系三地点、湖沼（鳥屋野潟）二地点、海域十地点を調査しました。

その結果、カドミウム等の健康項目についてはすべての測定地点で環境基準を達成しました。

生活項目については、環境基準を上回るものがあり、水質汚濁の指標となる生物化学的酸素要求量または化学的酸素要求量は、西川（亀貝橋、栗ノ木川（石山橋・両新橋）、通船川（南門東・西・山の下橋）、鳥屋野潟（弁天橋、鳥屋野潟出口）―などで基準を上回りました。

しかし、生物化学的酸素要求量を経年変化でみる限り、鳥屋野潟を除いて、全体的には横ばい状態にあります。

また、主要河川等で行った洗剤含有量調査の結果では洗剤含有量は年々減少してきています。

水質汚濁防止対策として、市は五十五年度も、水質汚濁防止法に基づく工場・事業場（特定事業場）九十二社、市条例に基づく施設をもつ工場、事業場八社を立入調査し、排水基準に適合しない工場・事業場に対してその都度改善指導を行いました。

産業廃棄物は約94万トン

―減量化を積極指導―

産業廃棄物とは、工場や事業場などから排出される燃えがらや汚でい等の不用物をいい、有害物質を含む物が多く、処理されるための処理地が届け出されたものでは十四カ所ありますが、残存容量は約十四万立方㍍と少ない現状です。

このため、市では工場や事業場に対し、例えば、鉱さいを舗装道路の下に敷いたりするなど、埋立てにまわる廃棄物の量を減らすよう指導しました。

このほか、二次公害を防止するため、処理技術の指導、パトロールによる不適正な埋立処分の取り締まり等を積極的に行いました。

五十五年度も①法や条例による規制②公害防止協定に基づく立入調査や発生源の常時監視③環境事前調査―などを積極的に実施し、汚染物質の削減に努めました。

特に環境事前調査は、赤塚小・内野中で気象観測を行ったほか、環境放射線量の連続測定を開始しました。

五百社を対象に行った調査では、五十五年度中には約九十四万トンの産業廃棄物が排出されました。種類別では、汚でい、鉱さい、建設廃材、木くずが全体の九四㌫を占めています。

この廃棄物の処理・処分の状況は、脱水や焼却などの中間処理をされた物が約八十万トン、原材料や燃料として使用された再生利用が約十六万トン、埋立最終処分された物が約九万トンでした。

市内には産業廃棄物を二次公害源にならないように適正処理するための埋立地が届け出されたものでは十四カ所ありますが、残存容量は約十四万立方㍍と少ない現状です。

このため、市では工場や事業場などから排出される燃えがらや汚でい等の不用物をいい、有害物質を含む物が多くあったりしてその処理が困難かつ多くは特別な技術を要します。

市内の主な工場や事業場約五百社を対象に行った調査では、五十五年度中には約九十四万トンの産業廃棄物が排出されました。種類別では、汚でい、鉱さい、建設廃材、木くずが全体の九四㌫を占めています。

この廃棄物の処理・処分の状況は、脱水や焼却などの中間処理をされた物が約八十万トン、原材料や燃料として使用された再生利用が約十六万トン、埋立最終処分された物が約九万トンでした。

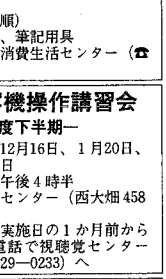
騒音苦情が45%も

公害苦情

五十五年度の苦情申立件数は百八十件。前年度に比べ三十二件減少しています。

内容別では騒音の占める割合が高く、用途地域別では住居系地域において申立件数が多くなっています。

苦情申立があった場合、原則として現地調査を実施し、必要な指導を行っていますが、最近の傾向として公害関係法令等の規制を受けない、いわゆる近隣公害的なものが多く、飲食店のカラオケなど、騒音について特にその傾向が顕著となっています。



種類別公害苦情受理件数

軌道中心25m地点で66～83ホン

＜新幹線試験車両の走行時騒音＞

騒音、振動は生活に密接な公害で、公害苦情の中でも高い割合を占めています。

環境騒音の実態把握のため昨年度は四十六地点で調査を実施しました。環境基準の適合状況は、時間帯・地域区分により異なりますが全体平均で六五㌫の適合率でした。

新潟バイパスとインターチェンジ接続道路八地点で行った調査では、女池六丁目、紫竹山一丁目で上昇傾向がみられました。

主要道路で行っている自動車騒音調査は、毎年測定点三地点（浦山四、小針村中、沼垂西三）での時間帯別の騒音レベルの経年変化、おおむね横ばい状態を示しました。

航空機騒音については、常時監視を行うとともに県と合同調査を実施しましたが、その結果、松浜側では特定の傾向は見られなかったものの、船江町側で増加の傾向が見られました。

五十五年度は、さらに、新幹線走行前の騒音・振動レベルの状況（騒音四十五地点、振動二十三地点）をは握するとともに、試験車両による走行時の騒音・振動レベル（騒音七地点、振動三地点）を軌道沿線地域で測定しました。

新幹線の試験走行時の騒音・振動レベルは、軌道中心から二十五㍍地点でそれぞれ六六―八三㌶、四〇―五四㌶で、場所によっては「新幹線鉄道騒音に係る環境基準」を超える騒音レベルを記録しました。

油断は禁物、ねずみに注意！

10日から全市一斉駆除運動

いまいないからと油断は禁物！――市では今年度も「住みよい郷土建設協会」と共催で全市一斉ねずみ駆除運動を展開します。

期間は第一次が十一月十日～十二月十日まで、第二次が来年二月一日～十日まで。

寒くなると屋外に生息しているねずみが、えさを求めて家の中や周辺に集まってきます。この機会にみんなでねずみを退治しましょう。

期間中、「ねずみ駆除相談室」を別表のとおり開設するほか、市では次のことを行います。

薬剤の交付　町内自治会で一斉に駆除を行う場合、一世帯当たりクマリン原末十五～三十㌘またはシリロシド原末三～六㌘の基準で無料交付します（調合に必要な材料は町内自治会で準備してください）。

パッチンの貸し出し　ねずみ駆除相談室に準備し、隣組または町内単位で無料貸し出しします。

指導会などの開催　町内自治会などの要請により、指導会、座談会、映写会などを開催する場合、係員を派遣します。

死鼠の確認と回収　町内自治会などで一斉駆除を実施した場合、捕鼠の確認、回収は市で行います（実施することをあらかじめ係員や相談室にご連絡ください）。

表彰　この期間を通じて優秀な成績をあげた町内自治会、個人を表彰。なお三五〇㌘以上の大物を捕った上位五名に大物賞を差し上げます（確認しますのでねずみ駆除相談室へご連絡ください）。

※ちなみに昨年度の運動期間中に退治したねずみの数は確認したものだけで二三、三六六匹。その被害額は米換算で約一億円の巨額にのぼります。

ねずみの駆除相談室

衛生課東分室	☎41―4111
衛生課西分室	☎65―0014
中地区事務所	☎74―0321
衛生課松浜分室	☎59―2721
衛生課内野分室	☎62―3405
大形連絡所	☎73―5684
大江山連絡所	☎76―2691
両川連絡所	☎80―2511

詳しくは上記相談室へ

県立新潟女子短大公開講座

日時　11月25、26日午前9時半～午後4時
会場　県立新潟女子短大
テーマ　自発的活動を促す保育―第1回基礎的な理論と実践―
内容　講演「自発的の活動の教育的意義」　岸井勇雄教授など
定員　幼児教育に関心のある方60人
経費　受講料無料、テキスト代1000円
持参品　昼食
申し込み　11月14日（消印有効）までに県立新潟女子短大総務課公開講座係（〒950 海老ケ瀬471、☎74―0346）へ

持家住宅建設資金を融資

県では、持家住宅の建設を促進するため、新しい制度を設け建設資金を貸し付けています。どうぞ、ご利用ください。

貸付限度額　1戸当たり200万円
利率　年6％（金融情勢により変更あり）
受付期間　12月10日まで
申込書の頒布・受け付け　第四、北越、新潟相互、大光相互の各銀行の窓口
問い合わせ　貸し付け条件等くわしいことは県建築住宅課（☎24―3803）へ

くらしの1日教室

日時　11月19日午前10時～正午
会場　中央公民館
テーマ　野菜のムダをなくすアイデアー大根や人参の葉などを使った調理
講師　金沢勝一
定員　40人（先着順）
持参品　エプロン、筆記用具
申し込み　電話で消費生活センター（☎28―8100）へ

16ミリ映写機操作講習会

―56年度下半期―

期日　11月16日、12月16日、1月20日、2月15日、3月15日
時間　午前9時～午後4時半
会場　市立視聴覚センター（西大畑458―1）
申し込み　講習会実施日の1か月前から受け付けます。電話で視聴覚センター（☎22―7400、☎29―0233）へ

雇用促進住宅

―入居者募集―

入居条件　同居親族のある方（結婚予定者、母子家庭も可）で、在職している方
住所　天野599―1、間取りは6、4.5、バス、トイレ（駐車場あり）
家賃　月6800円（ほかに共益金2000円）
問い合わせ　新潟公共職業安定所（☎44―0131）へ

「うちの子どもに限って」

時間　午後1時～3時
会場　有明福祉会館
定員　50～60人（各講座ごと）
参加費　無料
対象　どなたでも
申し込み　有明福祉会館（☎31―0204）へ
主催　新潟地区BBS会、蜘蛛の糸

日程と講師

11・15（日）	入門編	現代の非行の動向と特質 新潟保護観察所前園憲治郎課長 在枝義勝氏
12・13（日）	具体編パート1	現代の少年像の分析と少年犯罪 新潟中央警察署少年補導協助員 丸山三一氏
1・10（日）	具体編パート2	シンナー等吸い薬物の薬物の犯罪状況と恐しさ　新潟県薬物乱用対策推進協議会 新潟市保護司会常任理事　浅野武博氏
2・14（日）	対策編パート1	非行のおこる原因と非行を防ぐ対策 （未定）
3・14（日）	対策編パート2	我々は今何をすべきか （未定）

BSNラジオ『子育て日記』に ご質問・ご意見を！

～若い母親、新婚の方を対象～

放送日時　毎週日曜日午後2時～2時20分
テーマ
11月8日　妊娠中の注意
11月15日　妊娠貧血を防ぐ
11月22日　妊娠中毒症
11月29日　妊娠と血液

魚調理講習会

日時　11月18日午後1時～3時
会場　新潟駅前プラザービル5階
内容　魚を使ったお弁当惣菜の実習・試食
定員　50人（先着順）
持参品　包丁
申し込み　市鮮魚商協同組合事務所（☎41―4462）へ　※午前8時～正午の間に

西洋料理講習会

日時　11月9日午後2時～4時
会場　中央公民館
対象　主婦50人（先着順）
講師　内山弘一（郵便貯金会館調理部長）
会費　1,000円（材料費）
申し込み　吉荒（☎23―5781、部屋内）へ

会員募集（第2期生・12月開講）

種目	日時	会場	講師	定員
ペン字	第1・3日曜日 午後1時～3時	第2福祉センター	水野淳子	男女20人
書道	〃	〃	今井蓮嶺	〃
手あみ	第1・3水曜日 午前10時～正午	第1福祉センター	半田リツ	女　20人

受講料　各種目とも月額1300円（テキスト代含む）、材料費等は実費負担
申し込み　はがきに希望種目、住所、氏名、電話番号を記入の上、県民福祉協会（花園1―2―2、☎45―4151、内線214）へ